

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 28日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者 株式会社ニッセー
住所 静岡県焼津市下江留896-2
氏名 代表取締役 川村憲久
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 054-622-1212 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニッセー
事業場の所在地	静岡県焼津市下江留896-2
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	清涼飲料水製造業
②事業の規模	売上高 2,149,000万円
③従業員数	375人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2021 年度）実績】		別紙3参照
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		別紙3参照
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場及び各部署から排出した廃棄物を集積場所で再確認している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状を維持すべく、分別に関する社員教育を定期的 to 実施し、掲示等の啓蒙活動を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（2021年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（2021年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t
(今後実施する予定の取組)		

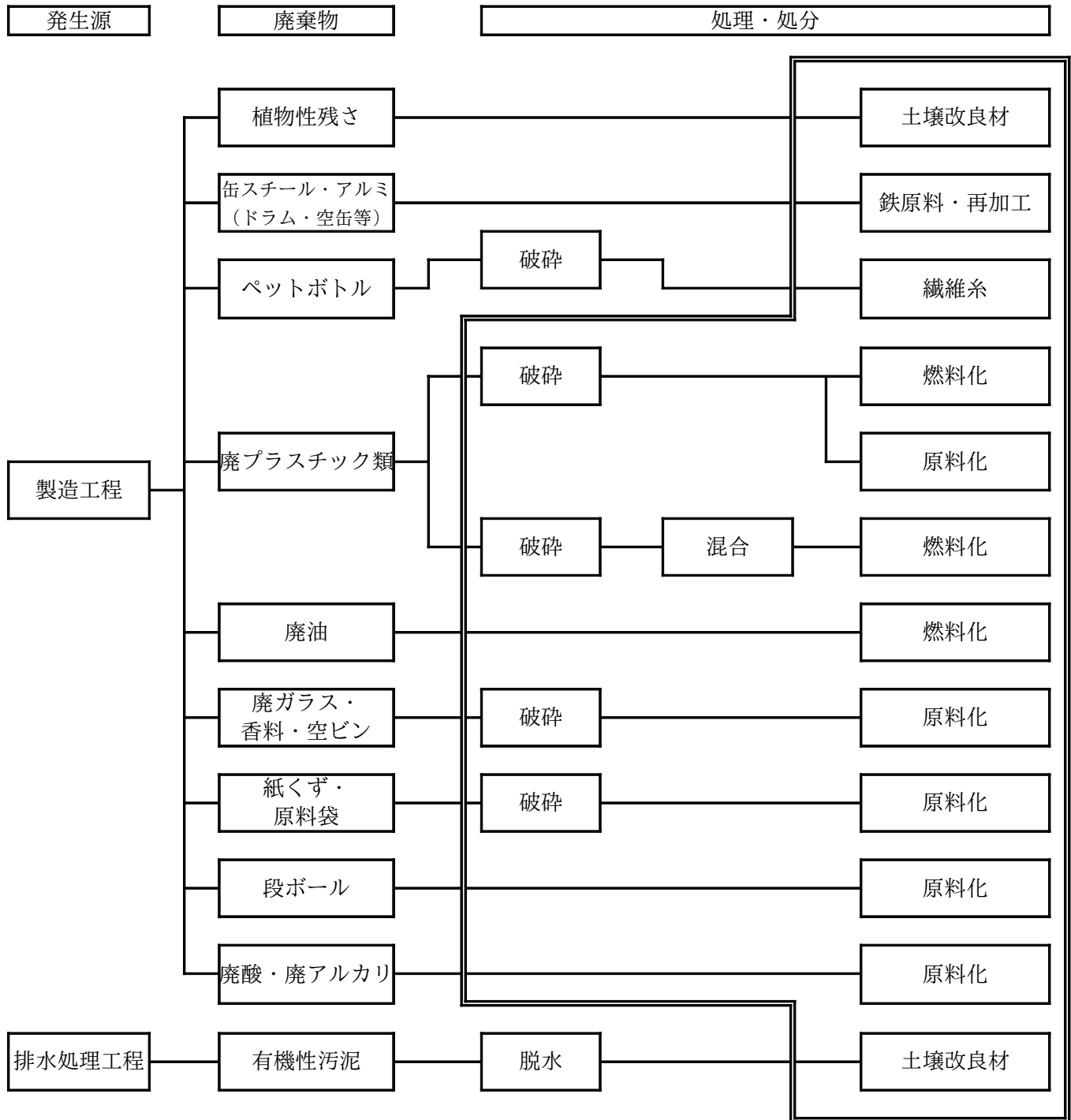
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】 別紙4参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙5参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

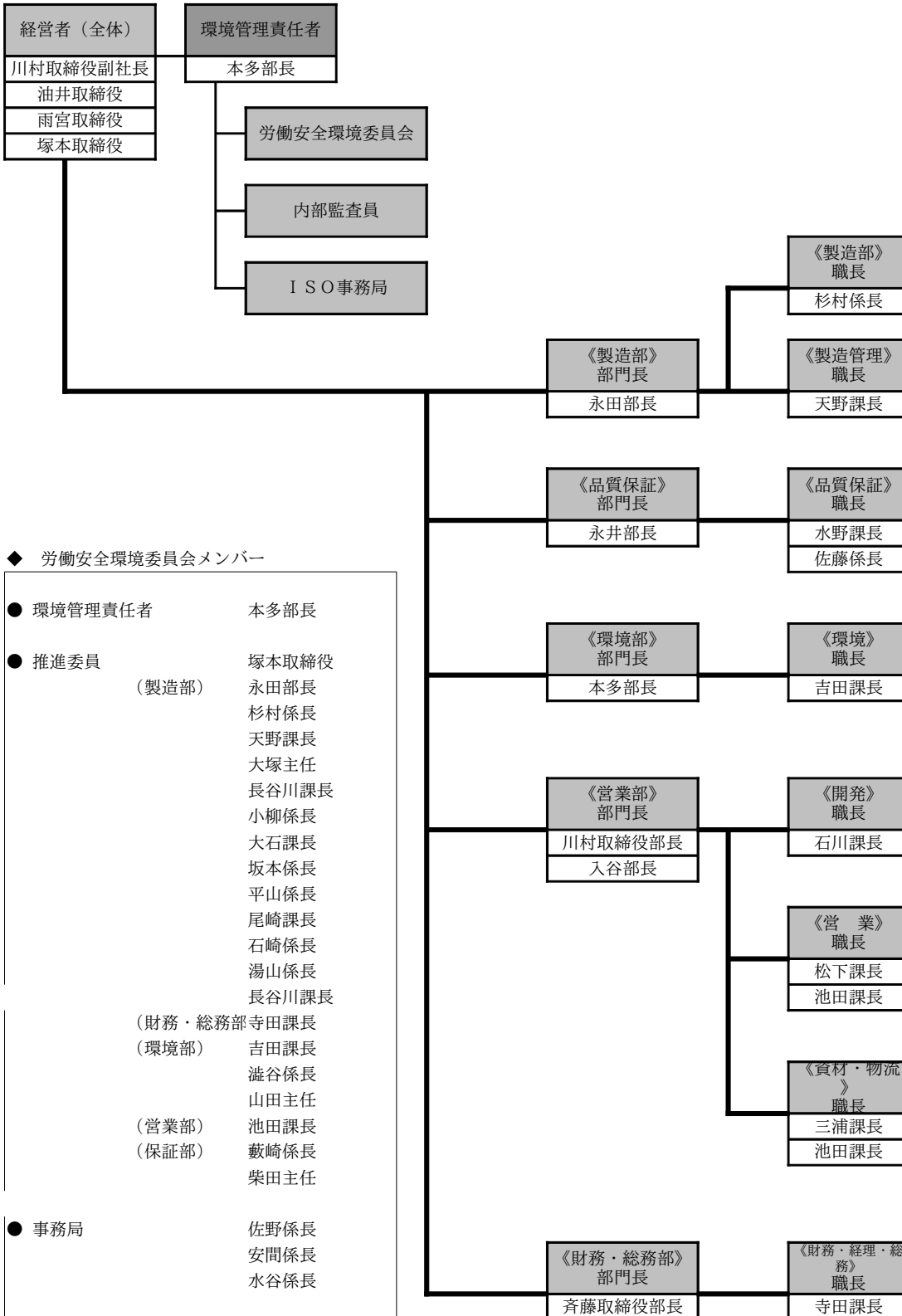
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類		廃プラスチック
① 現状	排出量	238.08 t
	これまでに実施した取組	有価物転換可能な物については洗浄・破碎等を行い有価物化する。
② 計画	排出量	200.0 t
	今後実施する予定の取組	廃プラスチック類の固形燃料（RPF）化に向けた情報を収集し、実現可能の可否を判断する。
産業廃棄物の種類		汚泥
① 現状	排出量	2,554.22 t
	これまでに実施した取組	脱水機による脱水の効率化、及び汚泥減容化に向けた情報収集。
② 計画	排出量	2,400 t
	今後実施する予定の取組	凝集剤新商品のテスト等を通して汚泥の減容化に向けた取り組みを進めると共に、汚泥減容化・抑制に向けた情報収集を行う。
産業廃棄物の種類		植物性残渣
① 現状	排出量	13,882.54 t
	これまでに実施した取組	減容化を目的とした小型乾燥機による乾燥処理。（一部工場）
② 計画	排出量	10,000 t
	今後実施する予定の取組	大型乾燥機導入による減容化とエネルギー転換
産業廃棄物の種類		紙くず
① 現状	排出量	64.66 t
	これまでに実施した取組	裏紙使用等の紙くず減容化に向けた社員教育と啓蒙活動。
② 計画	排出量	60.0 t
	今後実施する予定の取組	紙くず減容化に向けた社員教育を継続して実施すると共に、紙くず類の排出抑制に関する情報を収集する。
産業廃棄物の種類		廃油
① 現状	排出量	5.58 t
	これまでに実施した取組	廃油の排出抑制に向けた情報収集
② 計画	排出量	4.5 t
	今後実施する予定の取組	廃油の排出抑制に向けた情報収集を継続する。
産業廃棄物の種類		ガラス・陶器類
① 現状	排出量	1.7 t
	これまでに実施した取組	原料業者への再利用可能容器への転換依頼等。
② 計画	排出量	1.3 t
	今後実施する予定の取組	排出抑制に向けて、原料業者への再利用可能容器への転換依頼を継続すると共に、工場付帯設備等については割れにくい素材への転換を進める。
産業廃棄物の種類		廃酸・廃アルカリ
① 現状	排出量	530.8 t
	これまでに実施した取組	各工場の廃水処理施設で可能な限り処理を行い、外部処理委託量を削減している。
② 計画	排出量	400.0 t
	今後実施する予定の取組	発生する廃酸については、各工場の廃水処理施設で徐々に処理が行えるようにコンテナに一時保管するなどして計画的に処理を行い、外部への処理委託数量を削減する。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状 【前年度 (2021年度) 実績】

産業廃棄物の種類		廃プラスチック	
全処理委託量		238.08 t	これまでに実施した取組
産業廃棄物の種類	優良認定処理業者への処理委託量	137.08 t	優良認定業者への処理委託を優先している。
	再生利用業者への処理委託量	238.08 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		汚泥	
全処理委託量		2,554.22 t	これまでに実施した取組
産業廃棄物の種類	優良認定処理業者への処理委託量	2,552.16 t	優良認定業者への処理委託を優先している。
	再生利用業者への処理委託量	2,554.22 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		残渣	
全処理委託量		13,882.54 t	これまでに実施した取組
産業廃棄物の種類	優良認定処理業者への処理委託量	10,259.01 t	優良認定業者への処理委託を優先している。
	再生利用業者への処理委託量	13,882.54 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		紙くず	
全処理委託量		64.66 t	これまでに実施した取組
産業廃棄物の種類	優良認定処理業者への処理委託量	64.66 t	優良認定業者への処理委託を優先している。
	再生利用業者への処理委託量	64.66 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		廃油	
全処理委託量		5.58 t	これまでに実施した取組
産業廃棄物の種類	優良認定処理業者への処理委託量	0.38 t	廃油を処理できる優良認定業者の情報を収集している。
	再生利用業者への処理委託量	5.58 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		ガラス・陶器類	
全処理委託量		1.72 t	これまでに実施した取組
産業廃棄物の種類	優良認定処理業者への処理委託量	1.72 t	ガラス・陶器類を処理できる優良認定業者の情報を収集している。
	再生利用業者への処理委託量	1.72 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		廃酸・廃アルカリ	
全処理委託量		530.8 t	これまでに実施した取組
産業廃棄物の種類	優良認定処理業者への処理委託量	60.87 t	廃酸を処理できる優良認定業者の情報を収集している。
	再生利用業者への処理委託量	530.8 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 計画 【目標】

産業廃棄物の種類		廃プラスチック	
全処理委託量		200.0 t	今後実施する予定の取組
	優良認定処理業者への処理委託量	100.0 t	委託先の見直しを行い、優先認定業者への処理委託量を多くする。
	再生利用業者への処理委託量	150.0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		汚泥	
全処理委託量		2,400 t	今後実施する予定の取組
	優良認定処理業者への処理委託量	1,800 t	委託先の見直しを行い、優先認定業者への処理委託量を多くする。
	再生利用業者への処理委託量	2,400 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		残渣	
全処理委託量		10,000 t	今後実施する予定の取組
	優良認定処理業者への処理委託量	6,000 t	自社処理設備の導入を行い、可能な限り自社処理する方向で協議している。
	再生利用業者への処理委託量	10,000 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		紙くず	
全処理委託量		60.0 t	今後実施する予定の取組
	優良認定処理業者への処理委託量	55.0 t	紙くずを処理できる優良認定処理業者の情報を収集する。
	再生利用業者への処理委託量	55.0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		廃油	
全処理委託量		4.5 t	今後実施する予定の取組
	優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t	委託先の見直しを行い、優先認定業者への処理委託量を多くする。
	再生利用業者への処理委託量	4.5 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		ガラス・陶器類	
全処理委託量		1.3 t	今後実施する予定の取組
	優良認定処理業者への処理委託量	1.3 t	ガラス陶器類を処理できる優良認定処理業者の情報を収集する。
	再生利用業者への処理委託量	1.3 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
産業廃棄物の種類		廃酸・廃アルカリ	
全処理委託量		400.0 t	今後実施する予定の取組
	優良認定処理業者への処理委託量	200.0 t	委託先の見直しを行い、優先認定業者への処理委託量を多くする。
	再生利用業者への処理委託量	400.0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	